

ジヤトコ株式会社

1. 会社の概要

- (1) 会社名：ジヤトコ株式会社
- (2) 所属部会：関東金属機械部会第1分科会
業種：自動車用変速機及び自動車部品の開発、製造及び販売
- (3) 資本金：299億3,530万円
従業員数：7,500名
- (4) 営業品目：自動車用変速機
- (5) 企業理念：企業理念として“the Jatco Way”を定め、その実現に向け全員で取り組んでいる。
- (6) 沿革

当社は国内外自動車メーカーを顧客とする自動車用自動変速機(AT・CVT)の専門メーカーであり、これまで5,500万台以上のAT・CVTを生産してきた。特にCVT分野において業界の先駆者的役割を果たしており、1997年に2リッタークラスFF車用を、2002年には、3.5リッタークラスの大型FF車用を量産開始し、現在は軽自動車から小型、中型、さらに3.5リッタークラスの大型車用までのCVTフルラインナップを提供している。当社の沿革は、1999年6月設立のトランステクノロジー㈱(前身は、日産自動車㈱富士工場。1943年8月創業)と1970年1月設立のジヤトコ㈱が1999年10月に合併し、さらにその後、2003年4月にダイヤモンドマチック㈱(前身は、三菱自動車工業㈱のAT・CVT部門。2002年4月会社分割により独立)が合併して、現在に至っている。国内の拠点は、静岡県を中心に、東は神奈川、西は愛知・京都・岡山にあり、海外では、メキシコに

CVTの生産拠点を設けている。また、米国・欧州・韓国を中心に、営業・開発拠点を設けている。

- (7) CIマーク

Jatco



ジヤトコ株式会社本社

2. 知的財産部門の概要

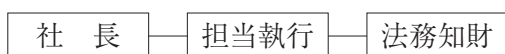
- (1) 名称
法務知財部

(2) 法務知財部門の沿革

当社においては、従来、開発部門に特許ライセンス課を置き、知的財産及びライセンスに関する業務を担当し、総務部門に法規グループを置き、企業法務に関する業務を担当してきたが、2003年4月にこれらを統合し、法務知財部として新たにスタートした。

※本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

(3) 法務知財部門の組織上の位置付け



(4) 法務知財部門の構成・人員

計19名（男性16名，女性3名），内訳は次のとおり。

部長1名，法務グループ3名（内管理職1名），技術契約グループ2名（内管理職1名），特許グループ13名（内管理職2名）

(5) 法務知財部門の所管業務

1. 知的財産に関する契約業務並びにその他の重要な契約書の作成支援および審査
2. 特許紛争の予防および係争処理
3. 特許活動の推進および知的財産に関する管理
4. 契約書類等重要文書の管理に関する業務
5. 事務局業務
発明審査委員会事務局

3. 我が社の知財活動

(1) 特許出願活動

当社ではここ数年，出願件数は，多少の増減はあるものの概ねコンスタントに150から180件の数字を維持している。特に活動を推進するにあたり開発部署と知財部署の連携を強化するため各部署に特許担当職制と特許管理主任を配置するとともに年度毎の特許相談スケジュールを策定し，発明発掘活動を推進している。

(2) 社内知的財産教育

当社では，研究・開発部員及び生産技術部員を対象に特許教育を行っている。新入社員教育，初級教育と中堅層を対象とした中級教育を行っている。

特に中級教育では，特許調査や抵触判断など開発過程で設計者が注意してもらうべく実践的な教育メニューを設定している。

また，これ以外に特許啓発を目的とする外部講師を招聘した講演会を，毎年定期的実施している。

知財部員への教育は，OJTでの教育と併行して発明の捉え方，クレーム構築の仕方などを中心に演習と討議を行う勉強会を定期的実施している。

4. 今後の計画

(1) 出願件数の増加

発明発掘活動の活発化をはかり，特許の質を維持向上させつつ，会社の規模を考慮し，現状より若干の出願件数増を計画している。

(2) 質の向上

発明受付時点で行う技術面及び特許面からの評価を充実させて，無駄な出願を防止するとともに，特許の質の向上を図る。

(3) 有効な権利の確保

上記(1)(2)項を実行すると共に，出願時及び中間処理時において世の中の動向を踏まえたより有効な権利の確保を図り，特許ポートフォリオを充実させる。

(4) 開発部門への情報提供

動向調査等の簡単な調査を開発者自らが行えるようにより使いやすい調査ツールを提供する。また，他社の技術情報をトピックスや特許マップなどで分かりやすくまとめ，タイミングよく情報提供する。

(原稿受領日2006年11月20日)